

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
木材・木製品	製材業	原木市況は出材量は順調も、相場は虫害や製品需要の鈍化、停滞を背景に、総じて下げ基調で推移している。製品は新設住宅着工戸数が前年同月比で7カ月連続で減少、需要減に拍車がかかっている。このため製品市場に活気がなく、荷動きにも勢いが無い状況であり、現状価格維持をいつまでできるか正念場を迎えている。
木材・木製品	製材業 (プレカット)	8月の実績は前年比88%、4ヶ月連続で前年度を下回る結果となった。業界紙を見ても大手住宅メーカーのほとんどが前年を下回る受注量となっているようで、当分の間は住宅に関しては厳しい数字が予想される。物価上昇が落ち着くまでの間は、非住宅の加工で数字を確保するしかない状況である。年内の非住宅についてはおおよそ受注が確定しているので、何とか黒字を維持していきたい。
木材・木製品	木製品製造業	8月は周辺地域でもコロナの感染者が増加していた。
印刷	印刷・同関連業	宮崎市に対して、価格転嫁の要望書を提出した。組合員をはじめ、業界の各社に対して聞き取りをしていただいている状況である。
窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	民間大型工事の本格打設が始まり、宮崎県公共工事も発注入札が少しずつ増えてきている。 それにも前年比マイナスの出荷実績は変わらず、出荷数量減及び原材料高を単価の値上で対応していく。
窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	先月の状況と大きな変化はなく昨年同月比54.7%と非常に悪い。累計でも49.2%と悪い。通年この様な状況の可能性有り。
小売業	たばこ販売業	たばこを取り巻く環境は、度重なる増税や喫煙規制強化などにより喫煙者・たばこ販売量ともに減少の一途を辿っているが、同時に販売店も減少しており、たばこ組合の加入店がそのほとんどを占める状況となっている。コンビニは加熱式たばこの販売促進により売り上げを伸ばし、キャッシュレス決済の浸透により、喫煙者のコンビニへの流れが今後より一層加速するものと思われる。一般小売店は固定客の安定的確保と、喫煙環境の規制強化に対応した喫煙所の確保・提供により集客力アップを図るなど、時代変化への対応に迫られている。
小売業	小売商業	当月は3年振りの行動制限のない夏休み・お盆休みとなり、県内でも感染者が過去最高を更新するコロナ禍の状況の中での中元商戦であったが、集客・売上とも、何とか昨年並の水準で推移した。要因としてはプレミア率30%の「西都市プレミア付き商品券」によるところが大きく、行政に対して感謝したい。しかし、今月もコロナ禍以前に回復する兆しはなく、今後の物価高騰、円安等の追打ちが控え、経済不安が募るばかりである。
小売業	石油販売業	石油製品の価格が高止まりしていることから、需要が減少している。特に個人消費の減少が大きくなっている。 国の補助金により価格が抑えられているが、9月までの期限も延長される方向にある。補助金が終了すれば一気に価格が高騰することになり、終了の仕方によっては混乱が生じることが懸念されている。
小売業	LPG小売販売業	■ 8月CP価格(サウジ通告価格)は670 ^{円/トン} (前月比△55 ^{円/トン}) ■ 7月MB価格(米国产平均価格)+(米物流経費80 ^{円/トン})は677 ^{円/トン} (前月比△35 ^{円/トン}) ■ 対顧客電売相場(7月平均)は137.79 ^{円/立方メートル} (前月比+2.86 ^{円/立方メートル}) ■ 米欧の積極的な利上げ継続による景気後退懸念、中国が新型コロナウイルス感染拡大に対し制限措置を再強化したことによる需要低迷への懸念等により原油価格が下落。LPG価格も不必要期が重なり小幅な下落となった。
商店街	宮崎市	引き続き、コロナに対する不安感もあり、来店客数の減少が続いている。
商店街	都城市	感染の拡大による急激な変化はここ数年変わらない状況の中、経済を止めない方針のおかげで店舗自体の営業は通常通りだが、肝心なお客様自体の自主的な行動制限で客足が減少している。また、感染者の拡大による従業員家族の濃厚接触並びに本人の感染と、身近な感染拡大が目に見えてはつきりとわかる状況になってきている。原材料の高騰も止まらず、価格転嫁せざるを得ない状況だが、お客様とより身近な商店はなかなか難しいとの声も出てきている。
サービス業	観光業	閑散期の8月に、今年は例年より3割ほど多い予約が入っていたが、それもコロナの第7波の影響で、予約の9割がキャンセルとなり、組合員もこの先の不安が拭いきれない。9月～11月の繁忙期に期待するが、修学旅行の形態も、このコロナ禍で変わり、旅行日数が少なくなり、組合員の稼働日数も減少している。
サービス業	自動車整備業	今月は忙しく感じる日がなかったが、在庫台数は前年比微増であった。組合員からも忙しいとの声を聞くことはなく、暇だという声が多くなってきている。
サービス業	不動産業	仕入価格の上昇で工事価格の上昇が懸念される。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
建設業	管工事業	<p>共同受注工事は順調に推移しており、修繕工事は増加傾向。公道工事は減少傾向にある。</p> <p>公共工事は前年比増加、民間工事は大型案件少なく前年比減少傾向にある。</p> <p>資材のメーカー価格の値上げが継続。塩化ビニル管は昨年5月以降、数回にわたり値上げを公表。ダクタイル鑄鉄管も昨年8～10月に10%程度の値上げ、本年8～10月にも更に10%程度の値上げを公表。</p> <p>9月10日(土)の「下水道の日」にちなみ、大淀川河川敷の清掃ボランティアを計画。組合員等総勢123名が参加予定であったが、コロナの感染拡大により、昨年引続き中止とした。</p>
建設業	管工事業	最近、分譲地が多くなってきた。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
運輸業	軽貨物運送業	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、組合員の感染及び家族の感染で濃厚接触者となり、自宅待機を余儀なくされることがあり、非常に厳しい環境の中で営業で、毎日の配車に支障をきたしている。特に若い世代の組合員たちが濃厚接触者で休業を余儀なくされるため、戦力が低下した状態の中で非常に厳しい状態が続いている。必然的に売り上げ減少につながるので厳しい環境である。
運輸業	貨物運送業	原油価格は、欧米の金融引き締めを背景とした世界的な景気後退リスクによるエネルギー需要の減少が見込まれていることや、イラン核合意復活に向けた協議の再開が報じられ、供給増の期待が膨らんでいることから、やや下落傾向となったが、国内燃料価格は高止まりが続いており、組合員はかなり厳しい経営状況となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
印刷	印刷・同関連業	引き続き、雇用調整助成金をはじめ、金融支援策の継続を要望したい。
建設業	管工事業	公共工事における地元優先の受注環境の整備をお願いしたい。